

かばた

川俣地区住民協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



三峰山(1235.4m)は、高見山から東へ延びる三峰山系の主峰です。(熊ヶ池へ続く林道からの眺め。)



「福本の大トチノキ」は、市の指定天然記念物となっています。

川俣地区は、松阪市の西部に当たる飯高町の中央部に位置しています。三峰山の懐に抱かれた山間地域です。地区の中央に榎田川の清流が流れ、並走するように国道166号線が東西に走っています。地区内の七日市には、旧和歌山街道の本陣があり、参勤交代の街道として栄え、明治初期まで大きな宿場が形成されていました。

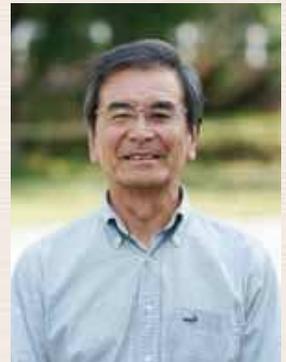
川俣地区住民協議会は、平成20年5月に設立され、環境安全部会、健康福祉部会、教育文化部会、地域振興部会、アンテナ部会の5つの部会で構成し、活動をしています。

昨年、アンテナ部会によるホームページ「かばたサイト」(<https://www.kabat.aste.jp/>)を立ち上げました。そして、現在ではインスタグラム等のSNSを使った地域の情報発信などを積極的に行っています。詳しくは、「かばたサイト」で検索をお願いします。スマートフォンでも見ることができるので、一度ご覧下さい。

60歳以上の割合が60%を超える中、地域住民が協力して「助け合い、励ましあい、共に生きる」ふるさと川俣」を目指して地域づくりに取り組んでいます。

主な活動は、地域美化活動、防災訓練、歴史探訪健康ウォーキング、ふるさと川俣祭り(敬老会)、健康祭り(ユニカール大会)、広報誌の発行などで、多様な活動をしています。

川俣地区は、509世帯・1001人(令和元年5月現在)が暮らしています。



川俣地区住民協議会
西浦 正篤会長

お知らせ

かばた
ふるさと川俣祭り
10月6日(日)に開催



地域のみんなで「ふるさと川俣」を盛り上げようと「川俣地区敬老会」とあわせて、毎年秋に開催しています。

活 動 紹 介



川俣健康まつり ユニカール大会

毎年12月に川俣小学校体育館で開催しています。冬の早朝にちびっ子たちから90歳まで勢ぞろいで白熱の対戦となります。



健康 ウォーキング

健康講座とあわせて開催。昨年は波瀬むらづくり協議会ボランティアさんのご協力で波瀬宿場町周辺を巡り運動不足を解消しました。



星空観察会 (星空を楽しむ会)

初秋の夜、星空専門家を講師に招き、川俣小学校グラウンドに寝転んで満天の星空を眺め、宇宙の彼方に思いを寄せました。